

■万葉集カルタの活用方法

1、今日のラッキーカードを決めよう!

①と②のどちらかの方法で（以下省略）

- ①参加者は札を1枚引きます。（16枚、又は32枚、次のゲームに合わせて）
 - ・参加者は選んだ札を声に出して読み、指導者（親）は、意味と万葉人からのメッセージを伝え、おみくじ風にその札に出会った魅力を伝えましょう。
 - ・練習後、暗唱発表に挑戦。（まちがえずに読めた1点、大きな声でしっかり読めた2点）
- ②32枚（8色×4枚）を利用して「じじぬきゲーム」を行います。最後に捨てた札のいずれか1枚、または、残った札がラッキーカードになります。（下の句が見えないように遊ぼう）

2、カルタで遊ぼう!

- ①1～16番、または、17～32番を利用して遊びます。 枚数が少なく初心者向け
 - ②1～32番を利用して遊びます。 上級者向け
- ・「個人対戦」、「チラシ取り」のいずれかで行います。
 - ・開始前の数分、位置を確認します。裏返して上の句を見ることができます。
- ※ラッキーカード（さらに同じ色の歌心札）をとると1点が加点されます。

3、万葉ビンゴで遊ぼう ※1人1セットが必要です。オンラインでも行えます。

- ①32枚から16枚を無作為に選び、下の句側を上にもむけて4×4枚に並べます
読み手が読んだら、参加者はその札をハイと取り、読み手に早く見せます。早く見せた1名（又は2名）が裏返すことができます。32枚を読み終えて、そろった列が多い人が勝ちです。
 - ②札下のピンクの札か水色の札（各16枚）のいずれかを同じく4×4枚に並べます。
参加者は読み手が読んだらその札をハイとおさえ裏返す。2回朗唱+数秒で時間切れで次に進みます。各参加者が最低1列並んだら終了です。そろった列が多い人が勝ちです。
- ※ラッキーカードは、開始前に下の句面を下にして好きな位置に移動できます。（数枚を読んだ後に移動可にする方法もあります）並んだ列にラッキーカード（または同じ色の歌心札）が入っていればそれぞれ1点加点されます。

4、数字で遊ぼう!

- ①小さなお子様は、歌を読んだ後に数字を読んであげると、ビンゴに参加できます。
 - ②親子の場合、札を数字で裏返してもらい、一緒に音読して言葉の響きに親しんでみましょう。
- モデルゲームとして紹介しました。それぞれ工夫して自由に取り組んで頂ければと思います。

■読み手用一覧について 以下を参考にして、読む順番を変えてゲームを行うことができます。

- その① 「1番から順に」「偶数・奇数の順に」「4ブロックの好きなブロックから」
その② 「8つの歌心グループ毎に」

■「親子で読もう!心にしみる万葉集」及びカルタ訂正箇所

P 2 3	20番	柿本人麻呂歌集	訂正→	柿本人麻呂
P 5 1	48番	柿本人麻呂	訂正→	柿本人麻呂歌集
P 3 8		覇旅の歌	訂正→	覇旅の歌
参考文献		澤瀉久孝	訂正→	澤瀉 久孝
		河出書	訂正→	河出書房